

〈トライアル活動〉 あおぞら市場 in 緑道(R4→R5→R6)	〈トライアル活動〉 地産地消プラットフォーム(R4→R5→R6)
 〈概要〉 東部地域の既存集落（農村部）と桃花台ニュータウンの交流促進、高齢者のための買い物支援や農家の販路拡大、地産地消の促進を目的に、令和4年度よりあおぞら市場を開催。 令和4年度は11月下旬に1回開催。 400名を超える人が来場。9時から正午までの開催であったものの、売り切れする出店者が続出。 令和5年度は7/9と11/26に開催。7/9は、地元農家さんと家庭菜園者6軒、来場者300人以上、11/26は、10軒、来場者400人以上であった。 令和6年度は7/7(日)に開催。2回目は、11/24(日)に開催予定。 〈実施主体〉 桃ヶ丘小学校区地域協議会 〈特徴〉 1. 桃花台ニュータウンの充実した都市インフラのひとつである緑道を使用している。 2. JA尾張中央と連携した運営体制が構築されている。 3. 軽トラでも、机でも出店方法は自由にしており、出店しやすい環境としている。 4. 農家だけでなく、家庭菜園をしている人も出店を可能としている。 〈課題・展開〉 開催時期の問題があったため、農家が参加しやすい時期の見直し、多様な人が出店できる環境づくりに努める。	 〈概要〉 東部地域の農家を間接的に支援するため、地産地消レシピをネット上で募集し、広く発信する地産地消プラットフォーム on-line を1月にオープン。 off-line イベントとして、募集したレシピの料理づくりイベントを開催するなどの活動を実施。 令和5年度は、第1弾で名古屋コーチンひきずり鍋、第2弾でサンビレッジにてさつまいも収穫体験からの料理づくり、第3弾でフルーツサンドの料理づくりイベントを開催。 第1弾では32名、第2弾では40名、第3弾では、47名の参加があった。 令和6年度は、8/24(土)夏野菜収穫体験、9/29(日)さつまいも、ぶどうを使った料理づくりイベントを開催。 〈実施主体〉 地産地消推進チーム(令和4年度、5年度) こまき地産地ショープロジェクト(令和6年度) 〈特徴〉 1. On-line での活動と off-line での活動をミックスすることで、幅広いニーズに答えようとしている。 2. JA尾張中央の協力の基、地元農家との交流を実現しようとしている。 〈課題・展開〉 情報発信の強化、企業協賛などのマネタイズ、地産地消メニューの商品化 市民活動団体の登録を行っていく

〈トライアル活動〉 こどもマルシェ(R4→R5→R6)



〈概要〉

「こどもたちに様々な社会体験をしてほしい。」そんな思いから地域のママなどが中心となって、こどもたちが自分のお宝(おもちゃなど)を持ち寄り、販売体験(お店屋さん)ができる、こどもが中心のマルシェを令和4年度より開催。

☞令和5年度は12/3に昨年度同様に大城児童館と連携して開催。

11ブースも出店があり、来場者数は397人であった。3/23に下末地区の境内地及び集会場でも開催。こちらも11ブース出店があり、来場者数は600人であった。

☞令和6年度も12月に大城児童館にて開催予定。下末地区の境内地及び集会場では令和7年4月上旬に開催予定。

〈実施主体〉

こどもマルシェ実行委員会

〈特徴〉

1. 運営体制をこどもの育成に対しノウハウを有する児童館と連携して開催している。
2. 児童館だけでなく、地域の大人がこどもを地域で育てるというテーマのもと集結している。
3. こどもバザールでも現金販売しているところ。

〈課題・展開〉

活動資金の確保と人手不足の解消が課題。出店者に対して無償としていたところを、出店料を集めることとする。

〈トライアル活動〉東部地域イメージアッププロジェクト 動画コンテストおよび大学祭での認知拡大ブース出店(R4→R5)



〈概要〉

東部地域の特徴のひとつである若年世代の転出超過。これに焦点を当て、若年世代が居住地として東部地域を選択してくれるように、東部地域の露出度を上げる取組。

令和5年度は、大学生目線で東部地域の魅力を発信するため、中部大学の学生を対象に動画コンテストを開催予定であったが応募者がなかったため、大学生がモデルとなったフォトコンテストを開催した。また東部地域の魅力発信のため、特設サイト及びポスターを作成。

〈大学生向け啓発活動〉

📅10/14・15 の2日間 名古屋経済大学学園祭にてブース出展。

📅11/3～5の3日間 中部大学学園祭にてブース出展。

しかしながら、主力メンバーである大学生が卒業したこともあり、令和6年度の継続事業とはならなかった。

〈実施主体〉

東部地域イメージアッププロジェクト(令和4年度)

東部地域イメージアッププロジェクト 動画コンテスト及び大学祭での認知拡大ブース出展チーム(令和5年度)

〈特徴〉

1. 大学生が主力メンバーで活動している。
2. 大学生の若い目線での魅力発信がされている
3. 時間・場所を問わず、様々な人に東部地域を知ってもらう活動となっている。

〈トライアル活動〉フードロス商品開発プロジェクト(R5)



〈概要〉

東部地域に事務所を構える「社会福祉法人自立の家 小牧ワイナリー」と東部地域の地元パン屋「パンベル」、小牧市近隣大学である名古屋経済大学、小牧市が連携し、フードロス商品開発プロジェクトを実施。

具体的には、小牧ワイナリーで大量に破棄するワインパミス(ワインの搾りかす)を使用したパンを地元パン屋のパンベルが開発。そのパンを使ったランチプレート(レシピ)を名古屋経済大学の学生が考案し、そのレシピを小牧ワイナリーのカフェテリアで販売するという取組を実施。

📅令和5年度はワインパミスを使用したハードパンを開発し、名古屋経済大学の学生7名10種類のメニューの提案があり、3種類が採択された。栄森の地下街 cuca、令和6年5月小牧ワイナリー主催のワインまつりにて販促。

📅令和6年7月から小牧ワイナリーななほしカフェにて「チーズベーコンハニー」をモーニングの時間帯に販売開始。

しかしながら、大学生のレシピ開発に関わることができる期間に限りがあることから、継続した活動とならなかった。その代わり学生の関わり方を改めた新たな取組「開発商品 PR プロジェクト」が発足。

〈実施主体〉

フードロス商品開発チーム

〈特徴〉

1. 産学官福が連携した体制が構築されている。
(産:パンベル、学:名古屋経済大学、官:小牧市、福:小牧ワイナリー)
2. SDGsを意識した取組となっている。
3. それぞれが得意とする役割分担にて実施されている。

〈トライアル活動〉 Waibeeee マルシェ(R5→R6)



〈概要〉

人口減少、少子高齢化の進行により、まちの活力・賑わいの低下が懸念される東部地域でキッチンカーやグルメ物販、ハンドメイドなどのブース出店によるマルシェを未利用地となっている桃花台線旧車両基地用地で開催。

また、都市計画上の規制等により、桃花台ニュータウン内においては、飲食店などが立地しづらい環境を逆手にとり、イベントという形で地域に様々な食を提供する。

実施主体の Waibeeee マルシェは、中心市街地の賑わい広場で月1回程度金曜日の夜に Waibeeee マルシェを開催しており、そのノウハウをこの東部地域でも発揮して、まちの賑わいの創出・活力向上に寄与していくことが期待される。

令和5年度は、11/25(土)、26(日)の2日間で実施

キッチンカー30台以上、グルメ物販等14店舗の出店があった。

令和6年度は、11/30(土)、12/1(日)の2日間で実施

〈実施主体〉

Waibeeee マルシェ

〈特徴〉

1. 東部地域外で実績のある団体が新たに東部地域に進出しようと挑戦する取組
- 東部地域の特性や未利用地の活用など、新たな挑戦を進めている取組

〈課題・展開〉

住民、来場者のニーズに合わせた開催時期の調整
市外の出店者のみではなく、地元の出店者も募る

〈トライアル活動〉東部地域イメージアッププロジェクト 中学生の郷土愛を醸成するための産学連携支援(R5→R6)



〈概要〉

地域に在住する中学生が郷土愛と地域へのつながりを感じつつ、メディアリテラシーの高さを活かした主体的な発信の貢献をしたくなるよう促すため、小牧市を事業エリアとする CCNet 株式会社の持つ映像作成ノウハウ等を中学生へ提供する産学連携をコーディネート。学びを得た中学生が、在学中または卒業後に東部振興構想を推進する一員として参画することを目指して活動している。

8/23(水) CCNet 株式会社による講義(インタビューの仕方などを含む映像作成方法)の開催

9/30(木) 中学生が東部地域で地域活動に励む人にインタビュー。

年度末までにインタビュー記事を中学生がまとめる。

令和6年度は8/3(土)CCNet 株式会社による情報番組制作ワークショップの開催。

〈実施主体〉

東部地域イメージアッププロジェクト 中学生の郷土愛を醸成するための産学連携支援

〈特徴〉

1. 小牧市を事業エリアとする企業と中学校及びプロジェクトメンバーが連携した取組
2. こどもを巻き込んだ取組

〈課題・展開〉

企業や学校とのすり合わせ、スケジュール調整

〈トライアル活動〉夏休み親子自然塾 IN 桃花台(R6)



〈概要〉

地域の自然を学ぶことで、地域への理解と愛着を深めること、また、親子が参加することで、子育て世代間の交流が増えコミュニティが強化され、外部からの若い世代の流入を促進することにつながることを目的に、自分の足で夏の四季の森を散策し、森林浴をしながら昆虫、植物の観測を行う自然観測会を開催。

📍7/27(土)に親子自然塾を実施。

〈実施主体〉

シニア低山登ろうかい

〈特徴〉

1. 東部地域の資源である市民四季の森を活用した取組
2. 地域の愛着醸成の取組

〈トライアル活動〉終活講座(R6)



〈概要〉

東部地域の高齢化率の高さから相続資産の滞留としての空き家が増加する可能性が非常に高い問題に着目し、生前に自身の財産について考え整理する「終活」をより身近に、かつ簡便に行えるようにすることで、空き家にしないための手続きを居住者本人が行う環境を整えることを目的に終活講座を開催。

📍6/6(木)、7/4(木)、8/1(木)に東部市民センターにて終活に関する小牧市市民講座を開催。

📍東部市民センター以外の多拠点で終活講座を今年度開催予定。

〈実施主体〉

シオン株式会社

📍実施主体が事業所であるが、東部地域の課題解決につながる取組を実施するための、施設利用や開催周知については、支援を実施することとしている。

〈特徴〉

1. 空き家発生予防取組
2. 相続といった将来抱える問題について事前に行動を起こすことの重要性を参加者が自覚し解決を図る取組

〈トライアル活動〉開発商品 PR プロジェクト(R6)



〈概要〉

小牧ワイナリーで大量に破棄するワインパミス(ワインの搾りかす)を使用したパンとランチメニューを地元パン屋のパンベルが開発。そのメニューを名古屋経済大学の学生がPRとなるロゴやPOPを作成し、そのロゴを活用してパンベルのカフェテリアで販売するという取組を実施。

📅10/2(水) 学生小牧ワイナリー見学

📅11月パンベル見学

📅11月～12月に採用するロゴとPOPを決定、2月からパンベルカフェで販売開始予定

〈実施主体〉

フードロス商品開発チーム

〈特徴〉

- 1.産学官福が連携した体制が構築されている。
(産:パンベル、学:名古屋経済大学、官:小牧市、福:小牧ワイナリー)
- 2.SDGsを意識した取組となっている。
- 3.それぞれが得意とする役割分担にて実施されている。

〈トライアル活動〉絶滅危惧種マメナシを多くの人に知って頂くプロジェクト(R6)



〈概要〉

絶滅危惧種マメナシが自生している東部地域の環境や桃花台ニュータウンの整備された街を体感しすることで東部地域の魅力を発見する目的で、マメナシを中心として市内外への発信、イベントを開催する。

📅3/28(金)に太良まめなしの里にて観察会を実施予定。同日に尾張白山フォトラリーを実施予定。

〈実施主体〉

シニア低山登ろうかい

〈特徴〉

- 1.東部地域の資源である太良まめなしの里、尾張白山を活用した取組
- 2.地域の愛着醸成取組

〈トライアル活動〉桃・ぶどうを活用した無添加レシピを作ろう！ (R6)



〈概要〉

東部地域の資源である桃とぶどうを活用して無添加商品のレシピを作成し、新たな魅力の創出をし、販売することで地域の魅力を宣伝し、地域農家の発展につながることを目標として活動している。

📅8/21(水) 名古屋経済大学管理栄養学科の教授から専門的意見をいただきながら試作品を作成。

📅10/9(水) ジャム製造、ジップードリンク試作。

📅10/13(日)名古屋経済大学祭のブースでジップードリンクとジャムを出店。

〈実施主体〉

こまき地産地ショープロジェクト学生チーム

〈特徴〉

1. 地域の特産物を使った無添加商品の開発・販売を行い地産地消推進する取組
2. 特産物を市内外へ発信する取組

〈トライアル活動〉リユースバスケット(R6)



〈概要〉

空き家等(おおくさの家)を活用し、地域で集まりやすい場所をつくることで、若い世代同士や子育て世代、多世代交流を生み、だれでも受け入れられる場所をつくりたいという思いから、歴史・文化、アート・ものづくり、リユース・SDGsをテーマを掛け合わせたイベントを開催。

📅10/14(月・祝)プレイベント実施

📅11/3(日・祝)バンブーインスタレーションにて周知活動予定。

📅11/23(土・祝)リユースバスケット開催予定。

📅12/1(日)大城児童館 こどもマルシェで出店。

〈実施主体〉

リユースバスケット実行委員会

〈特徴〉

1. 不登校の子どもやその親などの居場所を創出する取組
2. 世代を超えた住民の交流機会、地域の知り合いづくりの機会を創出する取組

〈その他〉 地域こども食堂（R5→R6）



〈概要〉

東部地域の南に位置する下末地区にて、地域こども食堂をオープン。

地域に住む子育て中のママが

1. 地域で多様な世代の交流の場所をつくりたい
2. こどもたちの居場所をつくりたい
3. 子育て中のママたちが一息つく時間を作ってあげたい

この3つの想いから地域こども食堂を開くことになった。

スタッフは基本、東部地域に在住する人が担い、今はボランティアで活動を実施。

また、場所は地元の集会場で開催しているものの、調理場所が手狭なことから、小学校の家庭科室を借り、調理を実施。また、炊飯には地域の飲食店が協力するなど、主催する子育て中のママの想いに賛同する人たちが連携・協力して実施している。

🗓️月1回 最終金曜日に開催。

🗓️令和6年9月27日に1周年記念会を開催。

〈実施主体〉

∞無限堂∞

〈特徴〉

1. 地域住民、地域の事業者、教育機関が連携した取組
2. 様々な公共施設を使用した取組（集会所、小学校）

ビジョン	取組方針	取組の方向	R4 トライアル活動	R5トライアル活動	R6トライアル活動
1. 多様な人が暮らし続けられるまち	高齢者 高齢者が安心して暮らせる環境の整備	1. 支え合い等による日常生活の利便性の向上 2. 高齢者のいきがい・居場所づくり	あおぞら市場 in 緑道	あおぞら市場 in 緑道	あおぞら市場 in 緑道 終活講座
	子育て世代 子育て世代にとって魅力ある環境の整備	1. 地域一体での子育ての仕組みの構築 2. 多様な働き方ができる環境の整備	こどもマルシェ	こどもマルシェ	こどもマルシェ リユースバスケット
	次世代 若者が東部地域に愛着を持てる環境の整備	1. 地域の知り合いづくりの機会の創出 2. 地域を学ぶ(知る)・参加・提案する機会の創出	こどもマルシェ	こどもマルシェ 東部地域イメージアッププロジェクト中学生の郷土愛を醸成	こどもマルシェ 東部地域イメージアッププロジェクト中学生の郷土愛を醸成 夏休み親子自然塾IN 桃花台 リユースバスケット
	交流 世代・国籍を越えた住民交流の促進	1. 世代を越えた住民の交流機会の創出 2. 外国人・日本人住民の交流機会の創出	地産地消プラットフォーム	地産地消プラットフォーム	地産地消プラットフォーム 夏休み親子自然塾IN 桃花台 リユースバスケット
	都市インフラ 都市インフラの有効活用	1. 公共空間の活用の促進 2. 先進技術を活用した地域内移動の確保	あおぞら市場 in 緑道	あおぞら市場 in 緑道	あおぞら市場 in 緑道 夏休み親子自然塾IN 桃花台
2. 多様な職業が共存し、持続できるまち	農業・商工業 地域の生業が持続・活性化する環境の整備	1. 農家を支え、発展させる仕組みの構築 2. 商工業を支える仕組みの構築 3. 農・商・工・福の連携の促進	あおぞら市場 in 緑道 地産地消プラットフォーム しのおかの桃を使った商品開発プロジェクト 東部地域の特産物ぶどうを広くPRしよう	あおぞら市場 in 緑道 地産地消プラットフォーム フードロス商品開発プロジェクト	あおぞら市場 in 緑道 地産地消プラットフォーム 開発商品PRプロジェクト 桃・ぶどうを活用した無添加レシピを作ろう！
	新規ビジネス 新しいビジネスの創出	1. ソーシャルビジネスの活動促進 2. チャレンジしたい起業家などの活動促進			

3. 訪れたくなる、住みたくなる魅力のあるまち	地域資源 地域資源の保全、魅力向上及び発信の強化	1. 地域資源を活用した新たな魅力の創出 2. 公園・緑道等を活用した魅力の発信 3. 時代にあった地域魅力の発信	東部地域イメージアッププロジェクト しのおかの桃を使った商品開発プロジェクト 東部地域の特産物ぶどうを広くPRしよう	東部地域イメージアッププロジェクト(動画コンテスト) 東部地域イメージアッププロジェクト中学生の郷土愛を醸成 フードロス商品開発プロジェクト Waibeeee マルシェ	東部地域イメージアッププロジェクト中学生の郷土愛を醸成 開発商品PRプロジェクト Waibeeee マルシェ 夏休み親子自然塾IN 桃花台 絶滅危惧種マメナシを知って頂くプロジェクト 桃・ぶどうを活用した無添加レシピを作ろう！
	住まい 若年世代も住みたくなる住まいの創出	1. 既存住宅を活用した新たな住宅供給 2. 安全・安心な住環境の整備			
	住民活動 ウェルカムなまちの雰囲気創出	1. 新たな住民の受け入れ体制・雰囲気づくり 2. 新たな住民を呼び込む活動の創出	こどもマルシェ	こどもマルシェ Waibeeee マルシェ	こどもマルシェ Waibeeee マルシェ リユースバスケット